

12月17日 尾張北部にて橋梁点検講習会を実施しました

～ 24時間、安全な道路を支えるために ～



高	所	作	業	車	を	用	い	た	
本	格	的	な	点	検	実	習		

尾張北部の点検講習会は、平成26年12月17日（水）に愛知県春日井市で開催され、国道22号枇杷島高架橋（上り）において、参加した自治体職員が現地点検を行いました。

現地点検を行った国道22号枇杷島高架橋は、昭和39年に架設竣工した橋長約380mの高架橋で、高架橋であることから梯子による点検が困難であるため、点検には高所作業車を用い、主に鋼桁の損傷、劣化の特徴や点検方法を習得しました。

国道22号枇杷島高架橋(上)現地点検

ポイント

チェック



腐食などの劣化はないか！

チェック



亀裂やボルトの抜けはないか！

■尾張北部点検講習会

【写真】満足度が高かった現地点検の様子

4地区で開催された橋梁点検研修会で、唯一「高所作業車」を使ったのが、国道22号枇杷島高架橋（上）で行われた研修です。普段見ることができない橋梁下面を前に、「新規職員のために講習をもう一度開催してほしい」という声が寄せられました。

開催日	平成26年12月17日（水）
場所	橋梁研修講習会（春日井市） 橋梁現地点検講習（国道22号枇杷島高架橋（上り））
参加者	春日井市、瀬戸市、小牧市、尾張旭市、北名古屋市、清須市、一宮市、犬山市、岩倉市、大口町、みよし市、等計20名